

1 次素案（本編）に関する意見 中間取りまとめ（抜粋）

【区分について】

①提言事項：市民協働会議として集約された意見

②参考事項：個別の参考的な意見、計画の実行段階の意見

※継続協議：中間取りまとめの段階では、集約を見送った意見

◎計画の基本事項	区分（案）
Ⅲ 計画策定にあたっての基本認識	
◇概ね良い。 1 基本認識の総括 2 人口推計について ◇もっと高い目標としたらよいのではないかな。 3 財政指標について ◇「概ね健全な状況となっています」という表現に違和感がある（例えば、減少のような具体的な表現を入れたほうがいいのでは。）という意見があったが、現状を考えれば健全なのではないかという意見もあった。 2 実績と推計、基本的課題等 （3）経済指標等 ④有効求人倍率 ◇有効求人倍率について <u>「ハローワーク能代管内の常用有効求人倍率（平成 29 年 5 月）は 1.46 倍で、県内 11 管轄中最も高い状況にあります。職種によって差があり、専門的職業の倍率が高い（最高 6.00 倍）一方、1.00 倍を割る職種もみられます。」に変更した方がよい。</u> 平成 29 年 5 月で 1.54 倍とありますが、これは 4 カ月未満の臨時雇用や季節雇用を含んだ全数での求人倍率です。全国や都道府県レベルでは季節調整という統計上の修正を行った上で全数の求人倍率を公表していますが、ハローワーク単位では季節調整が困難なことから全数の有効求人倍率は参考程度とし、対外的な説明では全て原数値の常用有効求人倍率を用いています。 また、求人倍率の低い職種として事務的職業を挙げていますが、事務的職業においては希望する求職者が常に多いため地域や景気動向に関係なく求人倍率が低くなっており、特定して掲出する必要はないかと考えます。 参考：ハローワーク能代の常用有効求人倍率（平成 29 年 6 月） 1.52 倍	※継続協議 →①提言事項 ②参考事項 ②参考事項 ※継続協議 →②参考事項

	⑤新規学校卒業者就職率 ◇<u>能代山本の新規学校卒業者就職率は全県で最低となっているため、地元定着率が低い現状を市民に把握していただく必要がある。</u>	※継続協議 →②参考事項
◎基本構想		区分（案）
VI 政策推進にあたっての方針		
◇概ね良い。 ◇1と2と同じようなことを言っているので、1つにまとめることが可能ではないかという意見があった。 2 横断的な連携の推進 ◇横断的な連携が必要だということが、文章として明示されて良かった。 3 持続可能な行財政運営の推進 ◇3の「選択と集中」という表現が、優先すべき課題ばかりに集中し、それ以外が切り捨てられるような片寄ったイメージがあるので、他の表現がないかという意見があった。		①提言事項 ②参考事項 ②参考事項 ※継続協議 →②参考事項
◎基本計画		区分（案）
I 重点的かつ横断的な取組		
◇概ね良い。 ○子どもを生み育てやすい環境づくり ◇子どもを主体的にした文章にした方がよい。例えば「子どもを～」ではなく「子どもが社会の中で元気に育ちやすい～」など。 ○若者の定住につながる産業振興と雇用確保 ◇「計画策定にあたっての基本認識」では、「産業創出と雇用確保」とされており、産業の創出も大事だし、振興も続けていかなければならないので、両方の「産業創出・振興と雇用確保」とした方が良いのではないかと。		①提言事項 ②参考事項 ※継続協議 →②参考事項

	◇企業（雇用確保）よりも起業、チャレンジできる情報発信、ネットワークを活用した若手企業者の発掘など、「若者の定住・起業を支援」のような表現にしたかどうかという意見があったが、雇用の確保は除くことができない（企業支援も含まれる）という意見もあった。 ◇産・学・官の協働（キャリア教育、若者の定住にもつながる）を4つ目の項目として加える。	②参考事項 ②参考事項
	IV 計画の推進 ◇概ね良い。 ◇PDCAサイクルのスパン（年数）を示してはどうかとの意見があった。 ◇<u>推進状況を監査（外部評価）する機関を設けたらどうかとの意見があった。</u> →【修正案】推進状況を外部評価する機関を設けるのかどうか不明なので、設けることを明示した方が良い。	①提言事項 ②参考事項 ※継続協議 →①提言事項